

筑波大学新聞

第359号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699
E-mail
shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- 自宅で簡単に睡眠の質測定
オムニバス映画3作品提出
- 硬式野球リーグ戦優勝校に勝利
「検証春のオンライン」下
団体での課外活動再開

11 10 9 5 2

特集

雙峰祭・やど祭・スポデー中止
どうなる学生文化 6・7

ミニ特集

オンライン化進む大学新聞
コロナ禍で影響も 3

次期学長予定者に永田学長

再任で通算11年在任へ

筑波大学長選挙(河田第一議長)は10月20日、次期学長予定者に現職の永田恭介学長を選出した。新学長は2021年4月1日に文部科学相から任命される予定で、任期は24年3月末までの3年間。永田学長は今回の再任で、開学以来最長となる11年間、学長を務めることになる。

(西村大祐)人文学類3年、後藤佳博(社会学類3年、2面に関連記事)

学長選挙 2020

学長選挙は、永田学長が来月3月で任期満了となることに伴うもの。選挙会議は永田学長の再任について「教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができ、能力と情熱、実行力を有し、筑波大学の卓越性を高めることができる者」と認め「ため」としている。

学内の役職教員らで構成する教育研究評議会は9月17日、永田学長と松本宏・生命環境系長の2人を候補者として選挙会議に推薦していた。経営協議会の学外委員も学長候補を推薦できるが、今回はなかった。

教育研究評議会は2候補の推薦に先立ち、常勤教職員から学長にふさわしい候補を聞き意見聴取を実施した。大学の報道への説明では、聴取対象者の約3割が投票し、対象者の10.7%が永田学長に、17.5%が



次期学長予定者に決まった永田恭介学長(10月21日、大学会館特別会議室で) = 西村大祐撮影

松本系長に投票した。同評議会は、国立大学法人法により選挙会議が学長を選考する責任と権限を有していることを確認し、選挙会議に2人を学長候補として推薦した。

選挙会議は学士会館(東京都千代田区)で、20日午後3時10分から約4時間半にわたって開催された。経営協議会の学外委員10

人と教育研究評議会のメンバーや理事など学内委員14人の計24人で構成され、全員が参加した。両候補に15分ずつ面談し、質疑応答もそれぞれ40分ずつ行った。その後、全委員で審議をした上で、無記名投票が行われ、1回目と2回目で3分の2以上



選挙理由を説明した河田第一議長(10月21日、大学会館特別会議室で) = 西村大祐撮影

を得た永田学長の再任が決まった。10月21日には記者会見が開かれ、河田議長、永田学長、稲垣敏之副学長(総務・人事担当)が出席した。オンラインで参加した河田議長は「2候補のプレゼンテーションや面談での受け答えにはかなりの差があった。今回の制度改正は5年からの積み重ねた議論に促されたものだ」と振り返った。

永田学長は「新型コロナウイルスの感染拡大で、あらゆる分断が見えてきた。分断を乗り越えるすべを見つめるのがアカデミアの役割で、そのためにも多様な分野を守りたい」と抱負を語った。

今後の3年間は、これまで進めてきた国際性と学際性の向上に加え、「大学ランキングなど固定化した学問や大学、社会の序列を変えたい。それぞれの大学が個性を出して活動することが重要で、これを率先していきたい」と話した。

意見聴取で松本系長の票数が上回ったことについては「結果の意味と結果をもたらした過程について」の充実を図る「チュートリアル教育」を実施する方針を掲げた。

また、課題となっている若手教員比率の向上を図るため、40年度までに新たに900人規模で採用を進め、全教員の30%まで増やす。研究成果の社会実装を進めるため、企業との研究部門と一体化した「B2A(Business to Academia)研究所」なども設置する計画だ。

文科省は昨年10月、22年度からの第4期中期目標期間に向け、指定国立大学法人を新たに公募した。筑波大、九州大、東京医科歯科

筑波大 指定国立大学法人に 40年度までに若手教員3割へ

文科省は10月15日、筑波大を指定国立大学法人に指定したと発表した。地球規模の問題を解決する「真の総合大学」となることを構想し、学長の強いリーダーシップの下で、目指すべき方向性や取り組みが学際的に浸透していることが評価された。東京医科歯科大も同時に指定され、指定国立大学法人は9大学となった。

(北川瑠菜)比較文化学類2年、西村大祐)指定国立大学法人は、世界的有力大学と肩を並べる大学を指定し、研究力や人材育成能力の強化、イノベーションにつなげる制度として2017年度に始

まった。指定されると規制緩和の対象となり、出資対象範囲が拡大したり寄付金など余裕金の運用がしやすくなった。筑波大は構想の実現に向け、外国人学生を全学生の30%に当たる5000人まで増やす。また、医学群などを除く1600人の学生に、1600人の教員が個別指導にあたり、学際教育

の充実を図る「チュートリアル教育」を実施する方針を掲げた。また、課題となっている若手教員比率の向上を図るため、40年度までに新たに900人規模で採用を進め、全教員の30%まで増やす。研究成果の社会実装を進めるため、企業との研究部門と一体化した「B2A(Business to Academia)研究所」なども設置する計画だ。

文科省は昨年10月、22年度からの第4期中期目標期間に向け、指定国立大学法人を新たに公募した。筑波大、九州大、東京医科歯科

大、九州大、東京医科歯科

2年連続の箱根出場逃す 18秒届かず 猿橋は全体6位

来年1月2、3日に開催される第97回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の出場大学を決める予選会が10月17日、陸上自衛隊立川駐屯地(東京都立川市)で開かれた。筑波大は予選通過ラインの10校にあたり、2年連続62回目の箱根駅伝出場を逃した。10位・専修大とのタイム差は18秒だった。

(大和祐菜)障害科学類2年、8面に関連記事)予選会には各校12人の選手が出場し、そのうち上位10人の合計タイムで競う。感染対策で無観客開催となり、立川駐屯地を周回するコースに変更された。

筑波大は、猿橋拓己(社会学類4年)が1時間1分43秒でゴールし、全体6位と



予選会で快走を見せた猿橋(右) 写真:月刊陸上競技

箱根駅伝予選会上位10校は以下の通り。▽順天堂大▽中央大▽城西大▽神奈川大▽国士館大▽日本体育大▽山梨学院大▽法政大▽拓殖大▽専修大

予選会には各校12人の選手が出場し、そのうち上位10人の合計タイムで競う。感染対策で無観客開催となり、立川駐屯地を周回するコースに変更された。

筑波大は、猿橋拓己(社会学類4年)が1時間1分43秒でゴールし、全体6位と

筑波お話し

筑波大は18秒差で2年連続の箱根駅伝出場を逃した。だが、桐の葉を胸にした2人のエースが、先頭集団を引っ張る映像に釘付けになった駅伝ファンも多いはずだ。チームとしても12人中11人が自己ベストを更新した。平坦な周回コースで、雨で気温が下がる好条件だったが、好タイムの理由はそれだけではない▼

試合後、上道彬岳・駅伝主務(地球4年)に電話インタビューし、そう気づいた。「タイムが遅い選手がチーム内でいかに価値を持てるか」をずっと考えてきたと言った▼元々は選手だったが、昨年の5月からブレイク・マネージャーに転向。練習のサポート役を務め、「箱根を目指す覚

悟はあるのか」とチームの意識改革を迫った。今年は、そんな彼に共鳴した3年生5人が新たにブレイク・マネージャーとなった。選手のタイム計測やランニングフォームの撮影など、走り以外でもチームに貢献する。大土手(専修大)は、彼らの存在がチームを盛り上げてくれたと感謝する▼4月に実家に帰った直後に緊急事態宣言が出され、つぐばに帰れなくなった。リモートで大学新聞の取材活動に参加はしたものの、1人だけ取り残されたような気分になった▼でも、どんな状況でも、自分の役割を主体的に考えることができれば、見えないはずがなくなり、チームの総合力は上がると思った。来年の予選会が楽しみだ。

筑波大の合計タイムは、6位で本戦出場を果たした昨年予選会より約19分早い10時間34分17秒だった。だが、10位の専修大は10時間33分59秒で、18秒及ばなかった。予選会トップの順天堂大は10時間23分34秒だった。

文科省の通知踏まえ見直し

選考方法改正 一部教職員から批判の声も

学長選考方法の主な改正点

	改正前	改正後
任期	1期目は4年 2年に限り再任可能 任期は最長で6年	任期は3年単位 6年ごとに白紙から選考 再任の限度は撤廃
推薦要件	助教以上の教員10人 か経営協議会学外委員 が候補者を推薦	助教以上の教員20人 か経営協議会学外委員 が候補者を推薦
意向調査	学長選考会議が実施 対象は常勤教職員	意向調査は廃止 教育研究評議会が 「意見聴取」を実施

(筑波大などへの取材を基に作成)

学長選考

2020

【一面参照】今回の学長選考に先立ち、4月1日付で学長の任期に関する規則や選考要件が改正された。学長候補者の推薦方法も見直し、再任の限度が撤廃された。これまでは、最長で6年在任できた。2004年の国立大学法人化以降では最大の改正は、このような経緯で行われたのだろうか。

(西村大祐、後藤佳佳、大和祐菜)

04年の国立大学法人化までは、教育公務員特例法に基づき、学長や学部長は、議は、学外の意見を適切に

反映するための経営協議会の学外委員と、それと同数の教育研究評議会選出の学内委員からなる。これとは別に、学長と理事も委員の3分の1を超えない範囲で定めることができる。

筑波大の場合、学外委員10人、教育研究評議会から10人、理事4人の計24人で構成されている。

大学の組織運営の在り方の改善を狙いとした15年の国立大学法人法改正に際し、文部科学省は各大学に、選考会議の主體的な選考という観点から「意向投票の結果をそのまま反映させるなど、過度に学内の意見に偏る選考方法は適切ではない」と通知した。

筑波大では従来、常勤教職員が学長にふさわしい候補に投票する意向調査を学長選考会議が行ってきた。だが、文科省の通知を受けて15年10月から議論を重ねた選考会議は、「学長選考会議の主體的な選考」を担保するため、意向調査は実施しないことを決めた。

ただし、新たに、教育研究評議会が学内候補を推薦する過程で独自に常勤の教職員から意見聴取し、結果を参考として選考会議に伝える方式が認められた。

19年3月からは学長任期についても選考会議で議論が始まった。「その時点でベストな学長を選考する」とため、再任の限度の撤廃が決まった。

従来、任期の1期目は4年、再任は2年となっていたが、「2年では短く、まとまったことができない」という議論があり、任期を3年単位とすることに決まった。

改正内容は19年9月には最終的に決まり、今年4月に施行された。

だが、今回の学長選考の過程については、教職員の一部から疑問の声も出た。「筑波大教職員組合」は9月15日に、選考会議に公開質問状を出し、意向調査廃止の根拠や「主體的な選考」の定義などに

ついて質問した。教職員有志で作る「筑波大学の学長選考を考える会」(共同代表は竹谷悦子教授、青柳悦子教授、吉水千鶴子教授)も10月9日にウェブサイトを開設し、教職員組合が出した四つの質問に1問追加、質問をした。これに対し、河田議長は10月15日付けの文書で、意向調査の廃止は文科省の通知などを踏まえたものだと回答。選考会議は学内や社会の意見を適切に反映させるために設けられ、過度に学内の意見に偏る選考方法は適切でないとした。

一方、「考える会」は本紙の取材に対し、「選考方法は選考会議、評議会が審議され、多くの教職員は内容を既定方針として伝えられただけで、議論の余地がなかった」とコメントした。

国立大学の学長選考を巡っては、東京大や北海道大などでも議論が起きた。東京大では、教職員有志らが透明性のある学長選考を求め、▽最終候補者3人が

から11月1日まで。ラーメン店や喫茶店のほか、カラオケ店や衣料品店など幅広い協賛店が集まった。ドリンク無料サービスや料金2割引など特典は店によってさまざまだ。

「若者の政治関心を高めたい」と7月から構想を練り始めた。8月末からは、飲食店や商工会などの協力を得るため、ほぼ毎日営業を続けた。

10月1日までに、4人で分担し約1カ月で100カ所以上を訪ねたという。

また、利用者を増やすため、協力店舗を毎日ツイッターで紹介した。10月からは、つくば駅前などで毎週2回ほどチラシを配った。

ポスターやチラシの作成費用などはクラウドファンディングで集めた。目標の50万円には届かなかったものの、1カ月で約30万円が集まった。

代表を務める金龍泰さん(エシス3年)は「投票率を前回の選挙より5%10%上げることを目指した。市全体を祭りのように盛り上げ、選挙に関心のない人にも「何か面白いことやってるぞ」と興味を持ってもらうために企画した」と語った。(後藤佳佳、写真も12面に関連写真)

「選挙割」投票するとお得に

筑波大生が企画 政治関心向上狙い

10月25日投票のつくば市長選、市議会議員選に合わせ、投票に行く人と協賛店舗で割り引などの特典が受けられる「選挙割」を、筑波大の学生たちが企画した。

投票所で受け取れる「投票済証明書」か、投票所での撮影したことが分かる自身の写真を店舗で提示すればよい。投票率向上につなげることが狙いで、市内の41店舗が協賛した。

企画したのは、議員事務



選挙当日も宣伝のためにチラシを配ったメンバー(10月25日、つくば駅で)

新会員 筑波大からは2人

日本学術会議 吉水教授と山口教授

日本の科学者の代表機関「日本学術会議」の第25期会員が10月1日に発表され、筑波大からは吉水千鶴子教授(人文学部)と山口香教授(教育学部)が新たに選ばれた。前期から会員の西尾スズル教授(ヒソネス系)、松本宏教授(生環系)も、引き続き会員の一人として選出された。

学術会議は法律に基づき、独立して政策への提言などができることとされている。定員は210人で、第一部(人文・社会科学)、第二部(生命科学)、第三部(理学・工学)のいずれかに所属する。約2000人の連携会員も委員会や分科会で活動する。

仏教が専門の吉水教授は第一部に所属し、哲学委員会の副委員長を務める。2011年10月から連携会員で、「古典精神と未来社会分科会」では、古典教育に関する書籍の共同出版や

高校生や高校教員との交流会などに携わっていた。

吉水教授は分科会には、学術と市民をつなぐ役割がある。今後は業務も増えるが、これまでと変わらず委員会や分科会での活動に取り組むたい」と語った。

日本オンライン委員会(JOC)理事を務める山口教授は、第二部に所属する。19年1月から、特任連携会員として「科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会」の副委員長を務めてきた。

山口教授は「脳科学や精神医学、ITなどさまざまな

専門家と交流し、新たな発見が多く得られた。学際的な議論ができる学術会議の意義を感じた。今後は会員として、多様な視点から健康・スポーツや五輪の価値を考えたい」と語った。

学術会議を巡っては、同会議が新会員として推薦した会員候補105人のうち6人を管轄首相が任命しなかったことが議論を呼んでいる。

吉水教授は「立場の弱い若手研究者が政府の顔色をうかがって批判的に研究ができなくなることを懸念している」と話した。

山口教授は「今回の任命在り方に対する疑問の声も出たが、学術会議の意義が社会に伝わっていないと感じた」と語った。(後藤佳佳)

手軽に睡眠の質測定

筑波大発ベンチャー 病気の早期発見も

筑波大発のベンチャー企業「S・U・I・M・I・N」(スイミン・つくば市天王台)は9月1日、睡眠の質を自宅で簡単に計測できるサービス「Insomnograf(インソムノグラフ)」の提供を始めた。小型の計測装置と人工知能(AI)による解析を組み合わせた、睡眠の質をA~Eの5段階で評価する。当面は睡眠に関する研究や商品開発に取り組む企業や研究機関が対象だが、個人向けのサービス提供も視野に入れている。(加藤優花)国際総合学類3年、工藤和哉)生物資源学類1年

開発された計測装置は手を開いた状態で、計測装置のスイッチを入れるだけで、脳波や眼球の動きを計測できる。自宅で7晩測定し、得られたデータをAIに送ると、瞬時に解析され、眠りに落ちた時刻や総睡眠時間、眠りの深さなど20種類

以上の指標を自動的に算出する。これを基に睡眠の質を評価する。

睡眠の計測はこれまで、終夜睡眠ポリグラフ検査(PSG)と呼ばれる手法が用いられてきた。だが、病院などへの検査入院が必要で、20以上の電極やセンサーを体に装着するなど、対象者の負担が大きく、自



小型の計測機器を装着した様子=スイミン提供

宅での睡眠など日常の睡眠状態を把握できなかった。また、データ判定は熟練した臨床検査技師が2~4時間かけて行っていた。

AIは筑波大の計算科学研究センターと共同で開発した。データの解析結果はベテランの臨床検査技師の判定結果と8割以上の一致

率を示しており、今後、更に精度を上げていくという。

インソムノグラフを用いた昨年の臨床研究では、20代から60代の被験者107人のうち8割で、睡眠不足や眠りが浅いなど、睡眠に何らかの問題があるという結果が出た。

藤原正明・代表取締役社長は「インソムノグラフが普及し、自宅で手軽に睡眠が計測できるようになれば、睡眠を巡る問題の改善に貢献できる。不眠症や睡眠時無呼吸症候群などの早期発見にもつながる」と話している。



山口香教授



吉水千鶴子教授

オンライン化進む大学新聞 コロナ禍の影響も

学生が取材し、記事を書き、編集する。全国の大学には個性豊かな大学新聞が存在し、キャンパスの今を伝えてきた。だが、インターネットの発達やコロナ禍で、活動の停止や見直しを迫られた新聞もある。各地の大学新聞は今後、どうなっていくのか。どうあるべきなのか。学生記者たちの取り組みを追い、識者に意見を聞いた。(西村大祐)人文科学類、天野隼太、山田優芽、梅津拓人(比較文化学類、車谷郁美、後藤佳怜)社会科学類、関根健史、加藤優花(国際総合学類、大和拓菜(障害科学類))

東京大学新聞

東京大学新聞は1920年に帝国大学新聞として創刊した。東京大生らで構成する「公益財団法人東京大学新聞社」が週一回約1万部を紙媒体で発行、販売している。公益法人の形態をとる学生新聞はほかにない。

2014年に「東大新聞オンライン」を開



「東大新聞オンライン」のトップページ(10月28日、本紙編集室で) = 後藤佳怜撮影

「東大新聞オンライン」のトップページ(10月28日、本紙編集室で) = 後藤佳怜撮影

「デジタルファースト」推進

最近では学長選考に関する特設サイトを設け、速報や社説を連日のように掲載した。オンライン掲載記事を再構成して紙面化する

法政大学新聞

法政大学新聞はコロナ禍の大きな影響を受けた。法政大学新聞もその一つだ。

北海道大学新聞

北海道大学新聞は、国公立大学の大学新聞に1回、PDFファイル化した紙面をウェブ公開して

休廃刊乗り越え復刊

星条旗新聞は、国防総省や米軍の動向を兵士や退役軍人らに伝えており、軍の

卒業生を読者に

卒業生や大学のファンなど、これまでと全く異なる新たな読者と価値や役割を創出することを目的にすべきた

関東学生新聞連盟

大学を越えて学生記者たちが交流し、切磋琢磨しながら紙面の質を高めていく。関東学生新聞連盟には、関東の九つの大学新聞が参加する。

UNN関西学生報道連盟

UNN関西学生報道連盟が今年3月で活動を停止した。広告収入減で活動資金が底を尽

識者に聞く

メディア論が専門の村上信夫・茨城大教授に、大学新聞の意義やオンライン展開の在り方などについて聞

資金・人材難で休止

星条旗新聞という米軍の機関紙は、大学新聞と役割が似ている。

資金・人材難で休止

星条旗新聞という米軍の機関紙は、大学新聞と役割が似ている。

大学越え情報共有

大学を越えて学生記者たちが交流し、切磋琢磨しながら紙面の質を高めていく。関東学生新聞連盟には、関東の九つの大学新聞が参加する。

UNN関西学生報道連盟

UNN関西学生報道連盟が今年3月で活動を停止した。広告収入減で活動資金が底を尽

識者に聞く

メディア論が専門の村上信夫・茨城大教授に、大学新聞の意義やオンライン展開の在り方などについて聞

資金・人材難で休止

星条旗新聞という米軍の機関紙は、大学新聞と役割が似ている。

卒業生を読者に

卒業生や大学のファンなど、これまでと全く異なる新たな読者と価値や役割を創出することを目的にすべきた

資金・人材難で休止

星条旗新聞という米軍の機関紙は、大学新聞と役割が似ている。

休廃刊乗り越え復刊

星条旗新聞は、国防総省や米軍の動向を兵士や退役軍人らに伝えており、軍の

卒業生を読者に

卒業生や大学のファンなど、これまでと全く異なる新たな読者と価値や役割を創出することを目的にすべきた



UNNに加盟していた大学新聞の紙面(10月29日、本紙編集室で) = 西村大祐撮影

識者に聞く

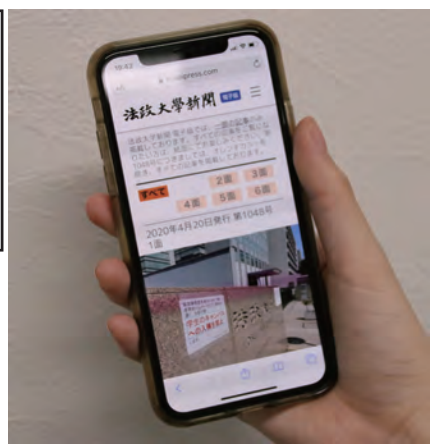
メディア論が専門の村上信夫・茨城大教授に、大学新聞の意義やオンライン展開の在り方などについて聞

資金・人材難で休止

星条旗新聞という米軍の機関紙は、大学新聞と役割が似ている。

卒業生を読者に

卒業生や大学のファンなど、これまでと全く異なる新たな読者と価値や役割を創出することを目的にすべきた



ウェブサイトで公開している「新歓号」(10月28日、本紙編集室で) = 西村大祐撮影

北海道大学新聞

北海道大学新聞は、国公立大学の大学新聞に1回、PDFファイル化した紙面をウェブ公開して

休廃刊乗り越え復刊

星条旗新聞は、国防総省や米軍の動向を兵士や退役軍人らに伝えており、軍の

卒業生を読者に

卒業生や大学のファンなど、これまでと全く異なる新たな読者と価値や役割を創出することを目的にすべきた



風景写真を載せたカレンダー(左)と紙媒体で発行された「北海道大学新聞」(右) = 北海道大学新聞編集部提供

休廃刊乗り越え復刊

星条旗新聞は、国防総省や米軍の動向を兵士や退役軍人らに伝えており、軍の

卒業生を読者に

卒業生や大学のファンなど、これまでと全く異なる新たな読者と価値や役割を創出することを目的にすべきた

記者の声



西村大祐

学長予定者決定

「真の総合大学」実現を まずは学内の融和から

永田恭介学長の再任が決まった。大学新聞の記者として、コロナ禍での大学の在り方や教員数減少対策などを巡り、何度かインタビューしたことがある。

どんな方向から質問を投げかけても、即座に答えを打ち返す頭の回転の速さ。取材の最後に「学生と話すのが一番好きなんだよ」と語る姿が印象的だった。

折しも、「真の総合大学」を目指し、筑波大が文部科学省から指定国立大学法人に指定され

た直後の再任決定だった。永田学長はこれまで7年半、筑波大のトップとして改革を先導し、指定法人の審査でも「学

個人の注目するのは「チュートリアル教育」だ。これは、医学部などを除く1600人の学生に1600人の教員を配置し、個別指導するもので、学際教育を充実させることが主目的だ。

筑波大には既に、教員1人が

教員の署名が必要な場合にだけ取りやめをする学生も多い。親元を離れて一人暮らしをする学生が多い筑波大では、困った時に頼れる大人が身近にいるのではないかと心配にもなる。

永田学長は学長選考会議後の会見で「新型コロナウイルスの感染拡大で、世界の分断が見えてきた。それを乗り越えるのがアカデミアの役割だ。多様な学問分野を守りたい」と話した。

教員の多様性を確保しつつ、学内の分断を解消することも学長の大きな役割だろう。

もちろん、筑波大には、「真の総合大学」としてさまざまな分断を解消する役割がある。そのためにも、永田学長には、何よりも先に学内融和に力を注いでほしい。今後の改革を進める上で、強い支えになるはずだ。

今回の学長選考過程を巡っては、一部の教職員から手続きが

長い強いリーダーシップの下で、目指すべき方向や取り組みが全体的に浸透している」と評価された。大学もポストコロナの取り組みが問われる今こそ、そのリーダーシップを発揮し、筑波大を学生や教職員に

「クラス担任」として約20人の学生をサポートする「クラス制度」がある。だが、クラスが十分に機能しているのは「フレッシュマン・セミナー」が開設されている1年生春学期のみで、その後は、教員との関係は希薄となってしまふ。クラス担任の

課題だった若手教員比率も、2040年度までに新たに900人規模で採用することで改善を目指すという。バランスの良い教員の年齢構成は、大学の持続可能性にもつながる。

今回の学長選考過程を巡っては、一部の教職員から手続きが

適切など批判が出ていた。一学生としては、学内に分断が残ったままでは今後の大学運営や教育研究に支障をきたすのではないかと心配にもなる。

永田学長は学長選考会議後の会見で「新型コロナウイルスの感染拡大で、世界の分断が見えてきた。それを乗り越えるのがアカデミアの役割だ。多様な学問分野を守りたい」と話した。

筑波時評

全世界での1日ごとの新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にあり、収束は見通せない。そんな中、国連の専門機関である世界保健機関(WHO)は新型コロナウイルスへの対応の遅れを批判されている。新型コロナに対応するために、WHOにはどんな役割があるのか、そして今後国際社会はいかに新型コロナに対応すべきかを論じてい

WHOとコロナ

国を越えた協力推進 長期的視点で対策を

WHOは2020年1月30日に、新型コロナウイルスに当たることの見解を示したが、この時点での旅行や貿易の制限は必要ないとした。この見解は、新型コロナウイルスが初めて報告された中国に配慮したものであり、旅行や貿易の制限を要請すべきだったとの批判がある。重要なのが、PHEICの制度に

おける国家の役割である。WHOがPHEICに基づいて各国に「暫定的勧告」を行う際には、事象に直接関係する国家の見解を考慮することになっている。すなわち、今回であれば中国の意向が反映される制度なのである。

では、WHO及び各国はどのように新型コロナウイルスに取り組み

は、各国を調整し、新型コロナウイルス対策のための機運を作り、技術的な協力を促進することである。WHOは「COVAXファシリティー」設立を主導し、現在150カ国以上が同ファシリティーに参加している。主に先進国が出資し、途上国を含めた各国へのワクチン供給を目指す取り組みである。あくまで参加

するのは国家であるが、各国が自国の感染防止対策に注力する中、国境を越えた新型コロナウイルス対策を行うことが、WHOの役割である。

第二に、各国に求められているのは、WHOなどをフォーラムとして活用し、情報交換、協力を行うことである。例えば、

米国はWHOからの脱退を表明しており、米国、ロシアはCOVAXファシリティーに未参加であるが、グローバル化が進み、国境を越えた移動の再開も散見される中、他国の新型コロナウイルスの感染状況は自国の感染状況に直結する。そのため、グローバルなレベルでの新型コロナウイルス対策が各国にとって必要不可欠である。短期的な視点での自国第一主義ではなく、長期的な視点に立てグローバルな対策を推進することが、中長期的な自国における感染症対策につながるはずである。

反射鏡

秋学期、どのくらい大学来る？

コロナ禍の中、2020年度の秋学期が始まった。対面授業が一部始まり、大学から自粛要請が出されていた課外活動も再開しつつある。だが、授業の大半はオンラインのまま。筑波大生はどのくらいの頻度で、何のために大学に来るのか。中央図書館などで対面取材し、オンライン会議システムを併用して聞いた。(山田優芽 比較文化学類1年、後藤佳怡 社会学類3年、関根健史 国際総合学類1年、田所涼 教育学類3年、中山友明香 生物学類1年)

【体育1年・男性】 学生と話すのが、対面講義のいいところだ。日本語の練習が、硬式野球部の練習の先生は、学生の顔をみながら授業をしたかったと来る。オンライン授業は好きな時間に行ける。対面授業は週2回ある。日中に自主練習することとが、むしろ都合がいい。

【目黒3年・女性】 対面で行われる体育と、対面講義のいいところだ。日本語の練習が、硬式野球部の練習の先生は、学生の顔をみながら授業をしたかったと来る。オンライン授業は好きな時間に行ける。対面授業は週2回ある。日中に自主練習することとが、むしろ都合がいい。

【目黒3年・女性】 対面で行われる体育と、対面講義のいいところだ。日本語の練習が、硬式野球部の練習の先生は、学生の顔をみながら授業をしたかったと来る。オンライン授業は好きな時間に行ける。対面授業は週2回ある。日中に自主練習することとが、むしろ都合がいい。

【目黒3年・女性】 対面で行われる体育と、対面講義のいいところだ。日本語の練習が、硬式野球部の練習の先生は、学生の顔をみながら授業をしたかったと来る。オンライン授業は好きな時間に行ける。対面授業は週2回ある。日中に自主練習することとが、むしろ都合がいい。

【目黒3年・女性】 対面で行われる体育と、対面講義のいいところだ。日本語の練習が、硬式野球部の練習の先生は、学生の顔をみながら授業をしたかったと来る。オンライン授業は好きな時間に行ける。対面授業は週2回ある。日中に自主練習することとが、むしろ都合がいい。

【目黒3年・女性】 対面で行われる体育と、対面講義のいいところだ。日本語の練習が、硬式野球部の練習の先生は、学生の顔をみながら授業をしたかったと来る。オンライン授業は好きな時間に行ける。対面授業は週2回ある。日中に自主練習することとが、むしろ都合がいい。

【目黒3年・女性】 対面で行われる体育と、対面講義のいいところだ。日本語の練習が、硬式野球部の練習の先生は、学生の顔をみながら授業をしたかったと来る。オンライン授業は好きな時間に行ける。対面授業は週2回ある。日中に自主練習することとが、むしろ都合がいい。



イラスト = 田所涼 (教育学類3年)

新内閣に望むこと

歴代最長の在職日数を誇った安倍晋三首相(当時)が病気を理由に退陣し、菅義偉内閣が発足した。筑波大生は新内閣に何を望むのか。中央図書館前などの対面取材と、オンライン会議システムを併用して聞いた。(西村大祐 人文学類3年、天野隼太 比較文化学類1年、小栗あおい、小菊日怜 社会学類1年、大和祐菜 障害科学類2年)

【心理1年・男性】 読んでいないため、政治に関する情報を得ていない。キャッシュレス化の推進など、社会の無駄をなくす行政改革に期待したい。中イメツもあり、政治に中央省庁だけでなく、地方にも改革を波及させてほしい。

【教育1年・女性】 現在就職活動中だが、学業との両立が難しい。就活に

【教育1年・女性】 現在就職活動中だが、学業との両立が難しい。就活に

秋山 肇



人文社会系・助教。国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科修士。博士(学術)。立命館大学国際関係学部嘱託講師などを経て、20年より現職。

人文社会系・助教。国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科修士。博士(学術)。立命館大学国際関係学部嘱託講師などを経て、20年より現職。

人文社会系・助教。国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科修士。博士(学術)。立命館大学国際関係学部嘱託講師などを経て、20年より現職。

人文社会系・助教。国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科修士。博士(学術)。立命館大学国際関係学部嘱託講師などを経て、20年より現職。

人文社会系・助教。国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科修士。博士(学術)。立命館大学国際関係学部嘱託講師などを経て、20年より現職。

人文社会系・助教。国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科修士。博士(学術)。立命館大学国際関係学部嘱託講師などを経て、20年より現職。

人文社会系・助教。国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科修士。博士(学術)。立命館大学国際関係学部嘱託講師などを経て、20年より現職。

人文社会系・助教。国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科修士。博士(学術)。立命館大学国際関係学部嘱託講師などを経て、20年より現職。

人文社会系・助教。国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科修士。博士(学術)。立命館大学国際関係学部嘱託講師などを経て、20年より現職。

「希望」をテーマにオムニバス映画

120大学参加 筑波大から3作品

新型コロナウイルスの感染拡大で創作活動が制限される中、全国の大学生から映像作品を集めてオムニバス映画を作る企画「突然失礼致します！」に、筑波大学THK筑波放送協会と「筑波大学V.I.C.C.映画をつくる会」が参加した。「希望」をテーマに3作品を制作、提供した。

(半田美乃理) 社会学類1年、遠子内早紀(社会学類3年)

群馬大映画部の部長、熊一たい気持ちはみんな一緒 谷宏彰さんが企画した。コダと発案した。4月21日 ロナ下で他大学の映像制作 に関東30大学の映像制作 サークルとオンラインで交 流する中、「創作活動をし 提案し、その後、企画の輪

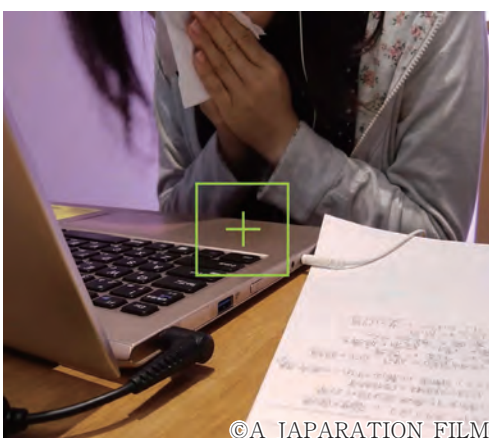
制作期間は5月中旬から 7月中旬で、120大学か ら、アニメーションやミニ ドラマなど180作品が集 まった。テーマを希望に決 めたのは「コロナ禍で社会 が求めているものの一 つで、抽象的なテーマの方が 多様な作品が集まりやす い」と考えたからだ。

筑波大学THK筑波放送 協会は「小さな日々」と「D on't give u p!」の2作品を制作した。 「小さな日々」は、オン ライン授業や友達との長電 話といった日常の風景を主 人公の大学生がスマート

フォンのカメラで日記のよ うに記録していく作品だ。 監督の山下ひさ乃さん (資源2年)は、「生活範囲 が狭まった中でも、日々を 積み重ねることで小さな希 望を見つけれられる。見た人 に『明日いいことが起きる かも』と思ってもらえたら うれしい」と、作品に込め た思いを語った。

「Don't give up!」は脚本と監督を 務めた藤井綾乃さん(知識 2年)の実体験を交えたラ ジオドラマ。何かに追い詰 められている女性と、彼女 を励ます女性の掛け合いが

ら始まる。真暗な画面で 話は進行し、視聴者の不 安を煽る。ところが、女 性を追い詰めていたのは 3000字の課題レポート だったことが最後の一言で



山下さんの作品「小さな日々」の一幕=本人提供

を全国に広げた。 制作期間は5月中旬から 7月中旬で、120大学か ら、アニメーションやミニ ドラマなど180作品が集 まった。テーマを希望に決 めたのは「コロナ禍で社会 が求めているものの一 つで、抽象的なテーマの方が 多様な作品が集まりやす い」と考えたからだ。

筑波大芸術系は、コロナ 禍に苦しむ社会に芸術を通 じて貢献しよう、新たな ウェブサイトを開設した。 教員や学生約20人が参加 し、親子で楽しめる粘土細

る妖怪アマビエをモチーフ にしたペーパークラフトな どが紹介されている。 「学んでみよう」では、 どんな配色や書体を使うと 見栄えの良いプレゼンテ ーションができるかなど、デ ジタル化が進む中で役立つ 知識をまとめている。

「感じてみよう」では、 遊び道具などのデザ インを工夫し、コロナ禍で 人々が絆を深められないか など考察している。 サイト名は「ART a nd DESIGN SUPPLEMENTS with post Corona」。

分り、思わず笑いを誘う。 録音は全て出演者の自宅 でスマートフォンを使って 行われた。音声編集を担当 した花原楓さん(目目2 年)は、「音質に不安があっ

似顔絵や塗り絵で笑顔届ける

オクトーバーフェスト

屋外でビールや食事を楽しめるイベント「つくばオクトーバーフェスト」が、10月9・11日につくばセンター広場(つくば市吾妻)で開催された。地域住民との交流を深めようと、筑波大生約30人が来場者の似顔絵描きや塗り絵ワークショップなど六つの企画を提供し、会場を盛り上げた。(三橋美音) 教育学類1年 田所涼(同3年、12面に関連写真)

同イベントはアイリッシュに参加しており、学生たち シュパ(フリンラガン)もマスク着用や手指消毒などの対策をこころめて参加した。フリンラガンは、感染防止対策に取り組む事業者を登録する県の「つくばアマビエちゃん」は10、11日に実施された。

寺澤さんに似顔絵を描い



当日の似顔絵やさんの様子(10月11日、つくばセンター広場で) =三橋美音撮影

てもらった筑波大の女子学生は、「可愛くて気に入った。データをもらったので、SNSのアイコンにしたい」と喜んでいた。 11日には「塗り絵ワーク ショップ」が開かれ、白抜きにしたオクトーバーフェ ストのポスターなどに色鉛 筆で自由に色を塗る企画を 子どもたちが楽しんだ。 ポスターは、ピアジョッキ を囲んでさまざまな人々が 交流する様子が描かれ

ジョッキにはロケットや筑 波山があらわされている。 ポスターをデザインした 伊藤菜々(同3年)は「自分 の絵に他の人が色を塗る のは初めてで新鮮だった」と話していた。 フリンラガンの松島志志 代表(平成7年度体育専門 学群卒)は「筑波大生の活 動を地域の人々に知って もらえる良い機会になった。 今後も両者が交流できるイ ベントを企画したい」と 語った。

江藤 光紀 准教授 (人文社会学系) 一橋大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。愛国学院大講師、筑波大講師を経て2011年より現職。

新しい日常のサポートに

芸術系 ウェブサイト開設

筑波大芸術系は、コロナ 禍に苦しむ社会に芸術を通 じて貢献しよう、新たな ウェブサイトを開設した。 教員や学生約20人が参加 し、親子で楽しめる粘土細

る妖怪アマビエをモチーフ にしたペーパークラフトな どが紹介されている。 「学んでみよう」では、 どんな配色や書体を使うと 見栄えの良いプレゼンテ ーションができるかなど、デ ジタル化が進む中で役立つ 知識をまとめている。

「感じてみよう」では、 遊び道具などのデザ インを工夫し、コロナ禍で 人々が絆を深められないか など考察している。 サイト名は「ART a nd DESIGN SUPPLEMENTS with post Corona」。

私一本 生きとし生けるものは必ず死ぬ。しかし死者を悼み、あの世へとおくるのは人間だけである。弔いの儀式の痕跡は原始人類の発祥のころにまでさかのぼることができるといえる。葬儀とは人間を人間たらしめている根源的な文化の一つであるといえるだろう。

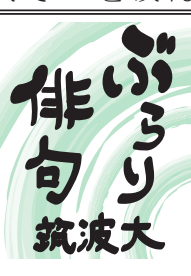
『おくりびと』

滝田洋次郎 監督

らではの偏見に傷つき、孤独死の凄惨な現場にシヨックを受けたりしながら、やがて仕事に意義を見出し、いく。

葬儀会社社長(山崎努)が行う死に化粧の鮮やかな手さばきに、参列者たちの表情が変わっていくのを目のあたりにして、主人公は心の中で「つづぶやく。冷静であり、正確であり、優しい愛情に満ちている。」「静謐で

私にとっては待望の過ぎやすい秋が来た。秋は着込めばなんともなるのいい。そう思っていたけれど、一度寒さで鋭敏になった肌や耳の感覚は秋特有の寂しさを帯びて離さない。こればかりは着込んでどうしようもなく困るものだ。一日炬燵を出して騙し騙し生活している。(吉川創揮) 比較文化学類4年



第一エリアで廣間菜月撮影

等しき間取りで案山子の家族かな 霜降や食器の音の一人分 秋雨におさまる部屋やいくつ本

双峰祭など学内行事相次ぎ中止

どうなる 筑波大の学生文化

秋学期が始まって1カ月。例年なら筑波大学園祭(双峰祭)に向けて大学全体が活気づく時期だ。だが今年は、学内行事が次々と中止に追い込まれ、学生間の交流や文化系学生団体の成果発表の場が大幅に減った。そんな中、SNSでの発信や独自のイベントの実施に挑む団体も現れた。これからの筑波大の文化活動はどうなっていくのか。担い手である文化系の学生団体や、各行事の実行委員会の現状を追った。(天野隼太・山田優芽・北川瑠菜・北川瑠菜・比較文化学類 車谷郁美・後藤佳佳・社会学類 田所涼・遠子内早紀・教育学類 中山友晴香・生物学類)

学園祭実行委員会

承に力を注いでいる。双峰祭では、模擬店やステージ発表、研究紹介などが企画され、来場者数は3日間5万人を超える。学実委は、各クラスから最低2人ずつ選出された1年生188人、2年生101人で構成される。4月以降はオンライン会議を週1回開いており、現在は準備や当日の運営を通して親睦を深める機会があった。双峰祭実行委員会の品川知輝委員長(人文3年)は「1年生同士が交流する場が失われてしまった。楽しみにしていた筑波大生、何より1年生に申し訳ない」と話した。



「UNITED ステージ」では毎年さまざまな企画が実施された(昨年11月4日、石の広場で) = 後藤佳佳撮影

双峰祭実行委員会

5月に予定されていた第46回双峰祭(やどかり祭)は、4月に中止が発表された。例年は、1年生を中心に、各クラスによる模擬店や、「ゆかたコンテスト」などの企画が2日間にわたって開催されてきた。双峰祭は、大学に入学したばかりの1年生同士が、生委員を中心に運営し、10月に約80人が入会している。来年度の委員長を務める望月圭さん(応理2年)は「今年度の運営経験がないため、来年度どうすべきかよく分からない。うまく1年生に引き継げるかも不安だ」と語る。



御輿の練り歩きも双峰祭を盛り上げる(昨年6月1日、平砂共用棟前で) = 小池凜太郎撮影

1年生少なくて引き継ぎ不安

月1年生に引き継いでいた。だが、今年は10月29日時点で1年生が約10人しか入会していない。例年は4月、来年度どうすべきかよく分からない。うまく1年生に引き継げるかも不安だ」と語る。

活動模索する学生団体

双峰祭を1年間の活動の軸に据えてきた団体は、喪失感や不安を抱えながらも、新しい活動の在り方を模索し始めている。

筑波大学アカペラサークル DoorWood

18人の新入生が加わり、126人で活動中だ。双峰祭では、石の広場に設置されるメイン舞台「UNITEDステージ」や、後夜祭でパフォーマンスを披露していた。サークル内から見直さざるを得なかった。現在はSNSを活用し、新たな発信を試みている。



約7カ月ぶりの対面練習(10月19日、文化系サークル会館で) = 北川瑠菜撮影

筑波大学天文研究会

300人が訪れた。課外活動の自粛要請を受けた4月以降はオンラインで活動し、新歓を約20回実施した。それ以外の活動は月に1、2回のミーティングだけに留まった。現在は、人数を制限した上で天体観望を再開し、大学院生を含む36人で活動しているが、新規入会者の獲得に苦労している。仮入会という形で約20人と連絡を取っているが、まだ数人しか正式に入会していない。

SNSで魅力発信

双峰祭では、石の広場に設置されるメイン舞台「UNITEDステージ」や、後夜祭でパフォーマンスを披露していた。サークル内から見直さざるを得なかった。現在はSNSを活用し、新たな発信を試みている。

ライブ開催「他団体のヒントに」

双峰祭の中止で、学生間の交流や文化系学生団体の成果発表の場が大幅に減った。そんな中、SNSでの発信や独自のイベントの実施に挑む団体も現れた。これからの筑波大の文化活動はどうなっていくのか。担い手である文化系の学生団体や、各行事の実行委員会の現状を追った。



夜間練習に励むメンバー(10月20日、平砂共用利用棟で) = 後藤佳佳撮影

ひらがなつくば

活動の要の舞台だった双峰祭中止を受け、自分たちでライブを企画した。双峰祭では、石の広場に設置されるメイン舞台「UNITEDステージ」や、後夜祭でパフォーマンスを披露していた。サークル内から見直さざるを得なかった。現在はSNSを活用し、新たな発信を試みている。



双峰祭でのショーの様子 = 筑波大学ヒーローアクション同好会提供

筑波大学ヒーローアクション同好会

オリジナルヒーロー「研究学園戦士ツクバダイ」のショーを運営する。脚本や音響、衣装制作など、全が自分たちで手掛ける。昨年は、学内やつくば市のイベントなどで計10回のショーを披露した。

ライブ開催「他団体のヒントに」

双峰祭の中止で、学生間の交流や文化系学生団体の成果発表の場が大幅に減った。そんな中、SNSでの発信や独自のイベントの実施に挑む団体も現れた。これからの筑波大の文化活動はどうなっていくのか。担い手である文化系の学生団体や、各行事の実行委員会の現状を追った。

双峰祭中止を受け、自分たちでライブを企画した

活動の要の舞台だった双峰祭中止を受け、自分たちでライブを企画した。双峰祭では、石の広場に設置されるメイン舞台「UNITEDステージ」や、後夜祭でパフォーマンスを披露していた。サークル内から見直さざるを得なかった。現在はSNSを活用し、新たな発信を試みている。

双峰祭中止を受け、自分たちでライブを企画した

活動の要の舞台だった双峰祭中止を受け、自分たちでライブを企画した。双峰祭では、石の広場に設置されるメイン舞台「UNITEDステージ」や、後夜祭でパフォーマンスを披露していた。サークル内から見直さざるを得なかった。現在はSNSを活用し、新たな発信を試みている。



3年生の引退延期

スポーツ・デー
学生委員会

スポーツを通して学生同士の交流機会を設けてきたスポーツ・デー。今年は春と秋の両方が中止され、スポーツ・デー学生委員会内の引き継ぎや委員のモチベーションに影響が出た。サッカーやバレーボール



スポーツ・デー参加者(昨年11月17日、陸上競技場で) = 西村大祐撮影

3年)は「中止はやむを得ないが、今までの頑張りがなくなったようにやるせない」と肩を落す。

バーチャル藝祭

学園祭が中止になった大

学は多い。一方で、オンライン開催に舵を切った大学もあつた。その一つが東京芸術大(東京都台東区)だ。「大学生活の中で1番のビックイベントで、大切な作品発表の場。どんな形になっても必ず実施したい。例年は、当日の運営を通して3年生から2年生に仕事を引き継いできたが、今年はそのままできなかった。1、2年生だけで来春のスポーツ・デーを運営することとは難しいと判断し、現3年生の引退を来年5月に延期することを決めた。

薬科2年)に話を聞いた。会場は本番前日まで修正を繰り返して作り上げた専用の特設サイト。9月4、6日にわたり開催した。学生の油絵やアニメーションなど305点が掲載され、19団体が事前収録した動画などを配信した。SNSでの反響が大きかったのは「バーチャルストリート」という企画だ。告知なしに突然歌や踊りなどを披露するグループなどを披露するグループなどもあつた。このため、誰も経験したことがないオンライン学園祭の準備が始まったという。

遠隔ゆえの利点も

またという。大学に開催許可を得るため、実行委員会は楽曲使用時の注意点や誹謗中傷への対応を取り決めた。動画などのコンテンツを数多く掲載できるウェブサイトを制作するのは難しく、ウェブデザインの仕事に携わる卒業生の会社に依頼し、協力を得た。バーチャル藝祭は成功をおさめたが、木村さんは「藝祭は人間くさい学園祭で、人と人との交流が魅力だった。生で見ない」と追力や空気が伝わらないと感じた。



藝祭の特設サイト(10月29日、本紙編集室で) = 北川瑠菜撮影

企画されていた。一方で、オンライン開催ならではの利点も見えてきた。演奏会は例年、抽選や先着順で入場者を決めていたが、事前収録の録画を配信し、一定時間視聴可能にした今回は、より多くの人が楽しめ、好評を博したという。



小林真さん

小林真さんは「近年注目が集まるeスポーツ取り入れた計画が実行できず、心残りだ。来年は筑波大生に最高のスポーツ環境を提供できるよう、後輩を支えたい」と語った。

木村さんは「オンラインでも開催できたという実績を作ることで、今後の選択肢を広げたいと考えていた。演奏会の配信などは来年以降も継続することを検討している」と語った。

Hello! 先端研究



杉山雄大准教授

運動、喫煙、飲酒などの生活習慣が関与し、発症の原因となる病気の総称だ。動脈硬化や糖尿病、高血圧、脂質異常症などが代表例で、日本人の死亡原因の約6割を占める。また、遺伝的要因も発症に関係することが知られている。

杉山准教授は、厚生労働省が16年に実施した国民生活基礎調査の匿名回答データを利用し、共に40歳以上の夫婦も発症に関係することが分かった。

小林真さんは「近年注目が集まるeスポーツ取り入れた計画が実行できず、心残りだ。来年は筑波大生に最高のスポーツ環境を提供できるよう、後輩を支えたい」と語った。

夫婦は同じ生活習慣病に 家族みんなで生活改善を

夫婦は同じ生活習慣病になりやすい。杉山雄大准教授(医学医療系)・田宮菜子教授(同)らの研究チームは、国民生活基礎調査IIのデータを解析し、このよう

小林真さんは「近年注目が集まるeスポーツ取り入れた計画が実行できず、心残りだ。来年は筑波大生に最高のスポーツ環境を提供できるよう、後輩を支えたい」と語った。

夫婦は同じ生活習慣病になりやすい。杉山雄大准教授(医学医療系)・田宮菜子教授(同)らの研究チームは、国民生活基礎調査IIのデータを解析し、このよう

夫婦は多くの場合、遺伝的なつながりはないが、同居して同じ食事を取るなど、互いの生活習慣に影響を与えあう。このため、配偶者が生活習慣病だと、本人も生活習慣病を発症するリスクが高くなる。これを

杉山准教授によれば、日本では、医師が患者に対し、両親や兄弟など血縁者の生活習慣病の有無を聞くことはあつても、配偶者について聞くことは少なかったという。杉山准教授はこの研究が

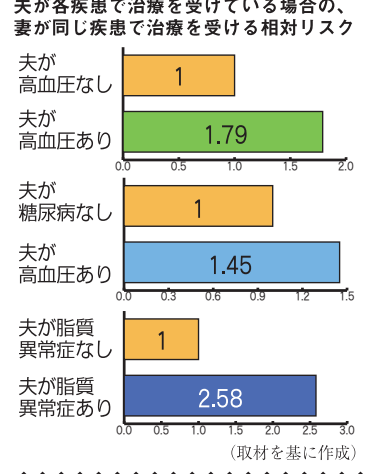
小林真さんは「近年注目が集まるeスポーツ取り入れた計画が実行できず、心残りだ。来年は筑波大生に最高のスポーツ環境を提供できるよう、後輩を支えたい」と語った。

小林真さんは「近年注目が集まるeスポーツ取り入れた計画が実行できず、心残りだ。来年は筑波大生に最高のスポーツ環境を提供できるよう、後輩を支えたい」と語った。

小林真さんは「近年注目が集まるeスポーツ取り入れた計画が実行できず、心残りだ。来年は筑波大生に最高のスポーツ環境を提供できるよう、後輩を支えたい」と語った。

多様性の森を散策しよう

小林真さんは「近年注目が集まるeスポーツ取り入れた計画が実行できず、心残りだ。来年は筑波大生に最高のスポーツ環境を提供できるよう、後輩を支えたい」と語った。



夫が各疾患で治療を受けている場合、妻が同じ疾患で治療を受ける相対リスク

夫が高血圧なし	1
夫が高血圧あり	1.79
夫が糖尿病なし	1
夫が高血圧あり	1.45
夫が脂質異常症なし	1
夫が脂質異常症あり	2.58

(取材を基に作成)

陸上 関東インカレ 高良ら4人優勝



3回目で6.09を記録し優勝を決めた高良の跳躍＝陸上競技部提供

関東学生対抗選手権(関東インカレ)が日程を分けて開催されている。10月9日には相模原ギオンスタジアム(神奈川県相模原市)で短距離や跳躍、投てき種目を中心に実施された。筑波大は女子走幅跳の高良彩花(体専2年)が昨年に続いて優勝するなど、26人が17種目で入賞した。9月の日本学生対抗選手権(日本インカレ)に続き、筑波大は好成績を残した。

陸上
動が制限され、選手たちのトレーニング不足が懸念されることから、10、11月に延期された。筑波大が所属する1部では10月24、25日に混成競技が、11月10日に女子1部走幅



相手を振り切りシュートを放つ三輪(10月3日、法政大戦で)

大量得点で法政大に圧勝 秋季リーグ戦

ハンド

【坂東市総合体育館(茨城県坂東市)で速子内早紀(教育学科3年)写真も】10大学で競う関東学生男子秋季リーグ戦が9月13日から10月18日にかけて行われた。31日まで開催予定だったが、複数大学で新型コロナウイルスの感染者が発生し、最終順位決定戦は中止された。筑波大は中止前の成績により、3位となった。10月3日の第3戦は法政大と対戦。相手を終始圧倒し、34-16で勝利した。筑波大は試合開始直後

連携プレーで攻撃生む

が危なげなくゴールを決めた。その後も攻撃を緩めず、筑波大は34-16で圧勝した。この日チーム最多の7得点を挙げた鈴木隆介は「最初のシュートが決まり、落ちていくプレーでできた。今日は今までにない最高の出来だった。1回限りにならないよう、日々練習を頑張りたい」と話した。藤本元監督(体育系・准教授)は「今のチームは相手に対応して戦える。速攻が課題だったが、後半は相手の攻撃を読み切り、早く相手陣地にボールを運ぶ効果的な攻撃ができた」と語った。

西浦 サヨナラ安打

優勝校・日体大に逆転



野球

首都大学野球秋季リーグ戦が9月19日から10月18日に開催され、筑波大は3勝2敗で4位となった。そのほか、女子1部では100以上の三浦由奈(同1年)が11秒64、やり投の兵藤秋穂(同3年)が49秒48で優勝した。

10日の男子1部やり投では、堤洗太郎(同1年)が初優勝した。雨の中の投てきとなったが、1回目で63秒96を記録。これが優勝記録となり、初出場ながら1位に輝いた。今大会の結果を受け、堤は「きちんと投げ切ることができた自分を評価したい。4連覇を目標に、日本インカレなど大きな大会でも戦える選手を目指す」と話した。筑波大は1年生が5人入賞するなど、下級生が結果

スポーツの顔

陸上

高校1年生時、競技を始めて7カ月で全国入賞を果たした。競技歴は3年半と短い。昨年1月には、東京五輪女子リレーの二期プロジェクトメンバーにも選出された。注目の新人だ。短距離の100メートルと200メートルを専門とする。レース直前のルーティン



東京五輪女子リレー プロジェクトメンバー

景山 咲穂 (体専1年)

心の底から楽しんで走れない日々が半年ほど過ぎたとき、顧問の一言で意識が変わった。「負けや失敗を恐れず挑戦すること、そして、自分のために競技をやりなさい」。重圧から解放され、レースを楽しめるようになった。高校最後の国体では自己ベストを更新できなかったが、100メートルで優勝を果たした。「正直2位は悔しかったが、原点に戻ったように伸び伸びと走れた」と話す。筑波大を卒業した高校

座馬健人(同4年)の打球が併殺打となり、先制はならなかった。両チーム無得点で迎えた10回、試合は無死1-2塁から始まる「タイブレーク」に突入。筑波大は加藤三範(同4年)が登板した。1死満塁から犠牲フライで先制された。その後も2死満塁のピンチを迎えた。しかし、2年ながらプロ注目の矢澤宏太(日体大)を右飛に打ち取った。後がない筑波大は10回裏、先頭がバントを失敗す



10回裏に2点適時打を放った西浦＝硬式野球部提供

るも、七番片岡心(同3年)はエラーで出塁、1死満塁となった。代打の西浦がノーボールツーストライクからライト線へ2点適時打を放ち、今季リーグ戦優勝を決めた。西浦は「今季は代打として指名されることが多く、早くから準備をしていた。スタツフやコーチから励まされ、思い切ってプレーできた」と話した。川村卓監督(体育系・准教授)は「リーグ戦を振り返って『コロナ禍で自粛期間が長かったが、4年生が中心となり、誰一人脱落せず今季を迎えることができた。来季は出塁した後の状況に応じた打撃を強化していきたい』と話した。(天野隼太II比較文化学類1年、牧田宗大II社会学類4年)

五輪見据え 自分のために

「高校で専門的な指導を受けたい」と思った。しかし、県記録会を最後に自己ベストが更新できなくなった。何度走っても体全体が力んでしまふ。「優勝して当たり前という雰囲気周囲から感じていた。期待に応え

はなくなった。しかし、県記録会を最後に自己ベストが更新できなくなった。何度走っても体全体が力んでしまふ。「優勝して当たり前という雰囲気周囲から感じていた。期待に応えたい」と話した。筑波大を卒業した高校

教員負担浮き彫り

オンラインの可能性も発見

コロナ禍に見舞われた大学で教員や学生は、オンライン授業の活用を前向きに受け止めても、これまでとは異なる授業の在り方に負担や戸惑いも感じていた。本紙や筑波大が実施したアンケートで、こんな実情が明らかになった。大学はこの経験を今後どう生かそうとしているのか。教員や担当副学長に取材した。

(西村大祐、後藤佳博、遠子内早紀)

睡眠時間削って 授業を準備

本紙が今年9月、教員を対象に実施したアンケートでは、回答者の8割がオンライン授業導入で負担が「増えた」「どちらかと言えば増えた」と答えた。

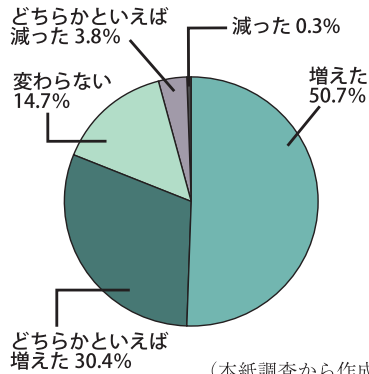
その後の本紙の取材で浮かんだのは、具体的なノウハウがないまま、時間をかけて、試行錯誤で授業の準備に臨んだ教員の姿だ。

森本健弘講師(生環系)は「オンライン授業の経験がなく、あらゆることが大変だった」と振り返る。春学期開始当初は、一つのオンライン型授業の収録に、授業時間の約2倍の時間がかかった。ノイズや聞こえ方も気を遣う必要があり、睡眠時間が減った時期もあったという。

新保奈穂実助教(同)は「オムニバス方式の授業で世話を焼いたが、オンライン型や同時双方向型など教員ごとに希望する授業方法が異なったため、調整が大変だった」と話した。一方、教員の多くはオンライン授業を今後も活用していくことに前向きだ。

本紙アンケートでは、対面授業の再開後にオンライン授業を行うことに、7割が前向きに答えている。「英語で授業

オンライン授業は従来の対面授業と比べ、教員の負担は増えましたか、減りましたか。



が「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた。新保助教は「遠方に居住する非常勤講師が講義しやすくなる」と話した。これまでは、フランスに住む教員が来日する機会に、筑波大で授業をしていた。だが、今年秋学期はオンライン会議システムを使って現地から授業するという。

安野嘉晃教授(医学医療系)は、これまでも技術的には可能だったオンライン授業がコロナ禍で広く普及したと指摘した。従来の対面型の授業では地理的な制約が多かったが、オンライン授業は場所に縛られない。

来月4月からは、文部科学省による制度改正で、一定の条件を満たした大学間で単位互換ができるようになる。安野教授は更に柔軟な運用を可能にすべきだと考えている。「英語で授業

検証 下のオンライン授業

教員・学生双方 意思疎通難しく

教員の声に対する受け止めや、今後の授業の在り方を清水副学長(教育担当)と、教学マネジメント室長の山中敏正教授(芸術系)に聞いた。(聞き手・西村大祐、後藤佳博)

約8割の教員が負担の増加を感じていた。清水副学長 大きな問題だ。大学としても色々支援を試みたが、十分ではなかったというところだ。授業動画の具体的な作り方や、技術面のサポートがもっとできれば良かった。山中室長 春学期は教員

個人の能力に頼ってしまう部分がある。また、土曜授業があったことで、学生だけでなく教員にも余分に負担がかかっていた。

オンライン授業の悪い点について、7割近い教員が「学生とのコミュニケーションが難しくなった」と答え、最多だった。

清水副学長 教員は、学生の表情やリアクションを観察しながら授業を進めている。オンラインでは対面と異なりそれが難しく、苦勞した教員が多かったのではないかと、山中室長 大学が実施した学生への調査では、教員への質問がしにくいと回答する学生が一定数いた。(本紙実施の)教員へのアンケートと照らし合わせると、双方が意思疎通に難しさを感じていたと分かる。図らずも、オンライン授業が教員と学生間のコミュニケーションの重

オンライン授業で困ったこと

- ・課題が多かった **70.2% (3124人)**
 - ・画面を長時間見ることに疲れた **67.8% (3019人)**
 - ・授業に関する友人との情報交換ができなかった **52.5% (2335人)**
- (筑波大の資料から作成)

一定数いると分かった。大学は調査結果を踏まえ、学生同士の意見交換の場を設けるなど、教員が留意すべき点を通知した。

教学マネジメント室と教育推進部が学習管理システム「mana」を使い

7月6日から8月7日に実施した。回答者は6401人(対象者の38.6%)、有効回答者は6338人、学群生は4450人、が寄せられた。

「併用授業への支援急務」

併用授業とは、複数の授業を併用する授業で、録画を併用する授業で、複数のカメラや場面を切り替える機器、それらを活用できる専門知識、コミュニケーションを支える体制(ティーチング・アシスタントなど)の充実が必要だ。現在は十分な機器や専門家の支援が無いまま、教員が1人で全てを担っている。今後取り組まなければならない問題だ。

この頃、日本における外国人児童・生徒の教育を受け、教学マネジメント室は秋学期授業に向けての留意点をまとめた。▽学生が質問できる場が「課題が多かった」と回答。画面を長時間見ることに疲れた」が67.8%、授業に関する友人との情報交換ができなかった」が52.5%と続いた。

自由記述では、「教員からの連絡手段や課題の提出形式を統一してほしい」教員からのフィードバックが少なく不安だ」などの意見が寄せられた。

留学生の声

韓国 シン・イナ (教育学類)

「日本は第二の故郷だ」といふ。留学生にもかわらぬ、中学・高校の国語科教職課程を履修し、小学校と特別支援学校の教員免許取得も目指す。学群3年生ながら、今年度春学期までの累計修得単位数は160を超え、努力家だ。

ソウル出身。2018年、教育学類に入学した小学生の時、日本人と韓国人の両親を持つ友人と家族ぐるみの付き合いがあり、簡単な日本語を話せるようになった。中学校は日本語が必修で、本格的に勉強を始めた。



この頃、日本における外国人児童・生徒の教育を受け、教学マネジメント室は秋学期授業に向けての留意点をまとめた。▽学生が質問できる場が「課題が多かった」と回答。画面を長時間見ることに疲れた」が67.8%、授業に関する友人との情報交換ができなかった」が52.5%と続いた。

自由記述では、「教員からの連絡手段や課題の提出形式を統一してほしい」教員からのフィードバックが少なく不安だ」などの意見が寄せられた。

母語や障害に応じた教育に情熱

育問題に興味を持った。姉妹校の生徒が韓国に来た際は、語学力を生かして通訳を担当した。

日本の朝鮮学校が財政難で校庭を売却し、運動場所がなくなるなど子供がきつかった。

日本の大学受験を決めたのは高校3年生の6月だ。韓国の大学の日本語を学ぶことに決めた。

だが、受験は思うように進まなかった。年明けから東京の私立大を何校か受けたが、不合格。渡航費もかさむため、2月の筑波大受験は止めようとしたが、高校の先生に最後まで粘るよう励まされた。諦めず勉強を続け、筑波大に合格した。

入学後は、日本語が母語ではない外国人の子供など「教育マイノリティ」と呼ばれる子供たちについて学んできた。日本の学校で学ぶ場合、日本語の遅れは学習の遅れにつながる。

特に関心を寄せるのは、障害を抱えた外国人児童・生徒の存在だ。19年1月、学生ボランティアとして特別支援学

物に着付けを体験した。姉妹校の生徒が韓国に来た際は、語学力を生かして通訳を担当した。

日本の大学受験を決めたのは高校3年生の6月だ。韓国の大学の日本語を学ぶことに決めた。

だが、受験は思うように進まなかった。年明けから東京の私立大を何校か受けたが、不合格。渡航費もかさむため、2月の筑波大受験は止めようとしたが、高校の先生に最後まで粘るよう励まされた。諦めず勉強を続け、筑波大に合格した。

入学後は、日本語が母語ではない外国人の子供など「教育マイノリティ」と呼ばれる子供たちについて学んできた。日本の学校で学ぶ場合、日本語の遅れは学習の遅れにつながる。

特に関心を寄せるのは、障害を抱えた外国人児童・生徒の存在だ。19年1月、学生ボランティアとして特別支援学

「受験応援」動画配信で

も踏まえ、「少しでも受験生の不安を軽減したい」と、動画の収録を決めた。

同企画では例年、委員が高中生から受験勉強や大学生活に関する不安について、対面で相談を受けていた。今年はそれに代わり、9月15日からツイッターで中高生を対象にアンケートを実施した。質問が多かった「模試の振り返り方や、対面授業の頻度」などのテーマについて、学群ごとに委

たかも聞いた。学群生では、「改善された」が13.6%(605人)、「やや改善された」が59.3%(2637人)、「最初から問題はなかったが、1%(229人)で、計78%だった。しかし、22%(979人)は「改善されなかった」と答えた。

山中室長は、「約2割が改善されなかったと答えたことは、重く受け止めている」と話し、同室の立石慎治、助教は「教員が努力をしても、学生が実感するに足らなかつたのかも改善の仕方が分からない教員への支援が必要だ」と話した。

学生が質問できる場設置へ

一定数いると分かった。大学は調査結果を踏まえ、学生同士の意見交換の場を設けるなど、教員が留意すべき点を通知した。

教学マネジメント室と教育推進部が学習管理システム「mana」を使い

校を訪問し、知的障害を持つ韓国人の生徒と出会った。そうした子供たちの存在は日本国内ではあまり認識されておらず、日本語を教えながら、適切な支援ができる教員も少ない。その現状にショックを受けた。

それ以降、「マイノリティ」の中の「マイノリティ」の存在を意識し始めた。現在は、母語や障害特性に応じた支援方法を研究している。

参加する筑波大学社会福祉研究会の活動の一環で、土浦市の小学生への学習指導ボランティアにも毎週参加する。

「母語ではない日本語で学んだ経験を生かし、日本で教育マイノリティの子供たちを支援する仕事をした。弱者に向ける視線は優しい。(関根健史)国際総合学類1年、写真は本人提供)

受験生の不安解消が目的

も踏まえ、「少しでも受験生の不安を軽減したい」と、動画の収録を決めた。

同企画では例年、委員が高中生から受験勉強や大学生活に関する不安について、対面で相談を受けていた。今年はそれに代わり、9月15日からツイッターで中高生を対象にアンケートを実施した。質問が多かった「模試の振り返り方や、対面授業の頻度」などのテーマについて、学群ごとに委

たかも聞いた。学群生では、「改善された」が13.6%(605人)、「やや改善された」が59.3%(2637人)、「最初から問題はなかったが、1%(229人)で、計78%だった。しかし、22%(979人)は「改善されなかった」と答えた。

山中室長は、「約2割が改善されなかったと答えたことは、重く受け止めている」と話し、同室の立石慎治、助教は「教員が努力をしても、学生が実感するに足らなかつたのかも改善の仕方が分からない教員への支援が必要だ」と話した。

団体での課外活動 申請受付開始

「学生交流の柱」再開へ

感染防止策の徹底条件に

筑波大は10月1日、「課外活動における団体活動開始ガイドライン」を発表した。感染防止策などを明記した「団体活動開始届」を学生生活課にメールで提出し、許可を得た学生団体は、団体活動を再開できる。これまでは一部の特例を除き、個人での課外活動だけが認められていたが、今後は複数人での活動が可能となる。

(後藤佳佳、三橋美貴、12面に関連写真)



筑波大学歌留多部も、マスク着用・換気徹底のもと練習を再開した(10月25日、文化系サークル会館で)＝後藤佳佳撮影

ガイドラインは活動の参入しない。活動場所は屋内か屋外によって状況が異なるため、加人数や活動時間について、外か、大きな声を出す必要がないかどうかなど、団体のため基本ルールとして定められた。

学生団体は各競技団体や各分野の協会などが策定した感染防止ガイドラインに従うことを打ち出した。また、マスクの着用や活動前後の手指消毒を徹底し、会食や懇談会、部室内での飲食は禁止するとしていた。

学生団体がメンバーに参加を強要したり、不参加者に不利な扱いをしたりしないことも求めた。各団体の学生代表責任者は、健康管理担当者や活動履歴管理担当者などを定めなければならない。健康管理担当者には、活動参加者の14日間の健康観察記録を顧問教員に報告し、活動履歴管理担当者は活動の日時・場所・参加者などを記録し、保管する。

団体活動開始届は、各団体の活動開始希望日5日前の午前10時までに提出する。学生生活課による10月23日時点で、届出があった159件のうち150件が許可された。▽感染防止策の記載が不十分▽毎年更新が必要な学

留学フェア オンラインで初開催

「渡航再開に今から備えを」

筑波大の留学の仕組みを紹介する「秋期留学フェア」が10月15～30日にオンラインで開催された。例年は大学会館で実施していた。グローバル・コンモンス機構の主催で、体験談や各プログラムの説明など、全14回のイベントをオンライン会議システム「Teams」や「Zoom」で実施した。参加者は延べ約800人になった。一部のイベントの録画はTeams内で11月末まで視聴できる。視聴のための情報はTWINsに掲載されている。(車谷郁美) 社会学類1年、北川瑠菜、工藤和哉

初日は、筑波大生のため「実施。Teamsを使って、海外留学ガイドブックの解説や、留学クイズをす



オープニングイベントで法被を身につけ留学制度を説明する職員(10月15日、1A棟で)＝北川瑠菜撮影

学経験の生かし方などを和やかな雰囲気でも伝えた。フェアは毎年春と秋の2回開催されているが、今春は新型コロナウイルスの影響で中止となった。

同機構の糸井智香・国際事業係長は「オンラインで留学の楽しさや雰囲気は伝わるかな不安だったが、1日で実施していた内容を2週間に分散したことで、学生により多くの企画に参加してもらえた」と語った。

筑波大は、外務省が発出する「危険情報」と「感染症危険情報」が4段階中最も低い「レベル1」以外の地域への学生の渡航を禁止している。

「渡航再開に今から備えを」

「渡航再開に今から備えを」

「渡航再開に今から備えを」

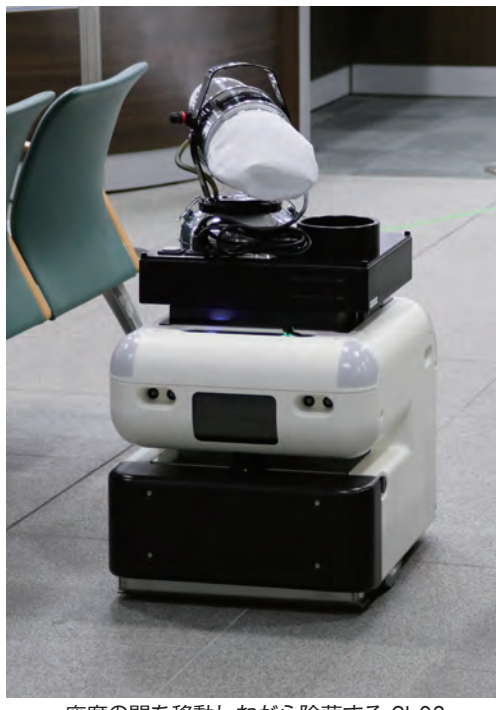
「渡航再開に今から備えを」

除菌作業ロボット導入

職員の負担軽減狙い

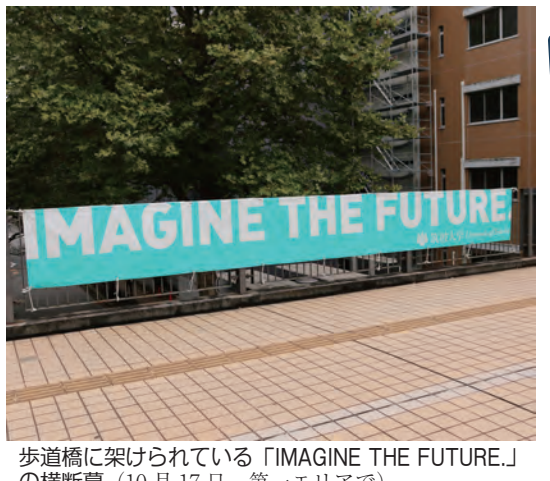
つくば市は10月1日、市役所本庁舎(同市研究学園)とつくば市立中央図書館(同市吾妻)に、2台の除菌作業ロボットを試験導入した。来年3月末まで稼働させる。

市役所本庁舎では、職員が1階の来客用椅子や記録台などの除菌作業をしている。導入には、2次感染の防止や職員の負担軽減を図る狙いがある。



座席の間を移動しながら除菌する CL02(10月14日、つくば市役所本庁舎で)

市役所本庁舎は2018年から、このロボットを書籍の運搬作業補助のために活用していた。



歩道橋に架けられている「IMAGINE THE FUTURE」の横断幕(10月17日、第一エリアで)

「IMAGINE THE FUTURE」は筑波大の理念を表すブランドスローガンだ。故・山田信博前学長が推進したブランドイングの一環で、コピーライターの一倉宏さん(昭和52年度人文学類卒)が制作した。



あいていーえふ「ITF」(名)①筑波大学のスローガン「IMAGINE THE FUTURE」の略。②筑波大学を指す。▽「ITF」とSNSのプロフィール欄に記載して筑波大学所属を表す学生もいる。

「IMAGINE THE FUTURE」は筑波大の理念を表すブランドスローガンだ。故・山田信博前学長が推進したブランドイングの一環で、コピーライターの一倉宏さん(昭和52年度人文学類卒)が制作した。

Who's Who?

「未踏 I T人材発掘・育成事業」に企画案が採択

大淵 雄生 さん (メ創2年)



同窓会でほほ笑む大淵さん=本人提供

天才的なIT人材の発掘を目指す情報処理推進機構(IIPA)の「未踏IT人材発掘・育成事業」(未踏)に企画案が採択された。

提案したのはアプリの作成を効率化するソフトウェア開発だ。9カ月の開発期間中は専門家の指導が受けられ、最大270万円強の開発費も支給される。

「高校時代から憧れていた事業だった。起業につなげたい」と夢を語る。

提案したソフトでは、入力画

面のイメージをデザインするだけで、その画面を表示するプログラムを自動生成してくれる。アプリでは、入力画面がよく出てくる。似たプログラムを何度も書く手間が省けるため、アプリ作成の効率化が期待できるという。

小学生の頃から工作好きで、テレビを分解したり、振動で進むおもちゃを携帯電話の部品と歯ブラシで作ったりしていた。プログラミングに興味を持ったのは中学生の時。「新世紀エヴァンゲリオン」に登場する

敵からのハッキング攻撃に対抗するシーンに憧れた。「これやりたい!」と思った瞬間だった。高校に入り、本格的にプログラミングに取り組んだ。入学祝いに父親からMacBookを譲り受け、高校1年の夏休みにプログラミングスクールの受講を始めた。

8月末が締め切りだった中高生向けのアプリ開発コンテスト「アプリ甲子園」への応募を目標に、プログラミングの基礎勉強とアプリ開発を同時進行させた。

作成したのは「DANMARK ER」というシューティングゲーム。自分で舞台や敵を設定できる。プログラミングを学び始めて1カ月で完成させた。まだ学習していない三角関数の知識が必要で苦戦したが、結果は3位入賞。「うれしかった反面優勝できなかったことが悔しくもあった」。

翌年の「アプリ甲子園」には

小学生のころから工作が好き アプリ作成の効率化を目指す

「Find Family」というアプリで応募した。認知症の高齢者が徘徊した時、靴に埋め込んだGPS発信機で位置を確認できる。認知症の曾祖父が靴を履くことだけは忘れないことから考えた。

1日13時間、食事と入浴以外の時間をアプリ開発に費やす日々を2カ月間続けた。実用性の高さが評価され、念願の優勝を果たした。GPSなどのハードウェアを扱うのは初めてで、靴に収まるサイズに調整するのが大変だった」と話す。

筑波大入学後には、大学の国際産学連携本部が主催する「アントレプレナーシップ・デベロップメント」に参加した。研究開発の成果を事業化する方法を学び、ソフトを投資会社に売り込むプレゼンも行った。

その際に企画したのが、インターネットにつながった電子機器など(IoT)がどのようにハッキングされるかを学べる

「Find Family」というアプリで応募した。認知症の高齢者が徘徊した時、靴に埋め込んだGPS発信機で位置を確認できる。認知症の曾祖父が靴を履くことだけは忘れないことから考えた。

1日13時間、食事と入浴以外の時間をアプリ開発に費やす日々を2カ月間続けた。実用性の高さが評価され、念願の優勝を果たした。GPSなどのハードウェアを扱うのは初めてで、靴に収まるサイズに調整するのが大変だった」と話す。

筑波大入学後には、大学の国際産学連携本部が主催する「アントレプレナーシップ・デベロップメント」に参加した。研究開発の成果を事業化する方法を学び、ソフトを投資会社に売り込むプレゼンも行った。

その際に企画したのが、インターネットにつながった電子機器など(IoT)がどのようにハッキングされるかを学べる

「Find Family」というアプリで応募した。認知症の高齢者が徘徊した時、靴に埋め込んだGPS発信機で位置を確認できる。認知症の曾祖父が靴を履くことだけは忘れないことから考えた。

1日13時間、食事と入浴以外の時間をアプリ開発に費やす日々を2カ月間続けた。実用性の高さが評価され、念願の優勝を果たした。GPSなどのハードウェアを扱うのは初めてで、靴に収まるサイズに調整するのが大変だった」と話す。

筑波大入学後には、大学の国際産学連携本部が主催する「アントレプレナーシップ・デベロップメント」に参加した。研究開発の成果を事業化する方法を学び、ソフトを投資会社に売り込むプレゼンも行った。

その際に企画したのが、インターネットにつながった電子機器など(IoT)がどのようにハッキングされるかを学べる

「Find Family」というアプリで応募した。認知症の高齢者が徘徊した時、靴に埋め込んだGPS発信機で位置を確認できる。認知症の曾祖父が靴を履くことだけは忘れないことから考えた。

1日13時間、食事と入浴以外の時間をアプリ開発に費やす日々を2カ月間続けた。実用性の高さが評価され、念願の優勝を果たした。GPSなどのハードウェアを扱うのは初めてで、靴に収まるサイズに調整するのが大変だった」と話す。

筑波大入学後には、大学の国際産学連携本部が主催する「アントレプレナーシップ・デベロップメント」に参加した。研究開発の成果を事業化する方法を学び、ソフトを投資会社に売り込むプレゼンも行った。

その際に企画したのが、インターネットにつながった電子機器など(IoT)がどのようにハッキングされるかを学べる

「Find Family」というアプリで応募した。認知症の高齢者が徘徊した時、靴に埋め込んだGPS発信機で位置を確認できる。認知症の曾祖父が靴を履くことだけは忘れないことから考えた。

1日13時間、食事と入浴以外の時間をアプリ開発に費やす日々を2カ月間続けた。実用性の高さが評価され、念願の優勝を果たした。GPSなどのハードウェアを扱うのは初めてで、靴に収まるサイズに調整するのが大変だった」と話す。

筑波大入学後には、大学の国際産学連携本部が主催する「アントレプレナーシップ・デベロップメント」に参加した。研究開発の成果を事業化する方法を学び、ソフトを投資会社に売り込むプレゼンも行った。

その際に企画したのが、インターネットにつながった電子機器など(IoT)がどのようにハッキングされるかを学べる

「選挙割」で学生の投票啓発



投票日当日もチラシを配り、宣伝に励んだ(10月25日、つくば駅で) = 後藤佳怜撮影

2面へ

つくばオクトーバーフェスト



「塗り絵ワークショップ」で地域住民と交流する筑波大生(10月11日、つくばセンター広場で) = 田所涼撮影

5面へ

男子バスケ オータムカップ開幕



相手を振り切りゴールに切り込む笹山(10月10日、中央大戦で) = 加藤優花撮影

8面へ

文化系団体も続々と活動再開



対面での試合練習に取り組む筑波大学歌留多部(10月25日、文化系サークル会館で) = 天野隼太撮影

11面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活

編集後記

秋学期開始から1カ月余り。対面授業と団体での課外活動の再開で学内のにぎわいも戻りつつあります(11面)。本紙でも1年生と一緒に取材する機会が増えました。緊張した初々しい姿を見て、やっと始まったキャンパスライフを充実させてほしいとの思いが募ります。▼今号では、キャンパスライフにも影響する大きな出来事がありました。学長選挙です(1、2面)。筑波大では、教職員組合から質問状が出されるなどの動きもありました。永田恭介学長は会見で「結果をもた

編集・発行

筑波大学新聞編集委員会
 ▼委員長 土井隆義(人文社会学系・教授) 社会学系
 ▼副委員長 佐藤勲(学生部長) ▼委員 菅谷純子(生命環境系・教授) 果樹園芸学(竹中佳彦(人文社会学系・教授) 政治学)

次号は

12月14日(月)

発行予定です

発行所 筑波大学

印刷 ヒラマ写真製版

筑波大学新聞編集委員会
 ▼編集代表 鴨志田公男(筑波大学・教授) サイエンスコミュニケーション
 ▼編集長 西村大祐(人文社会学系3年) ▼副編集長 後藤佳怜(社会学系3年) 加藤優花(国際総合学系3年) ほか編集部員21人